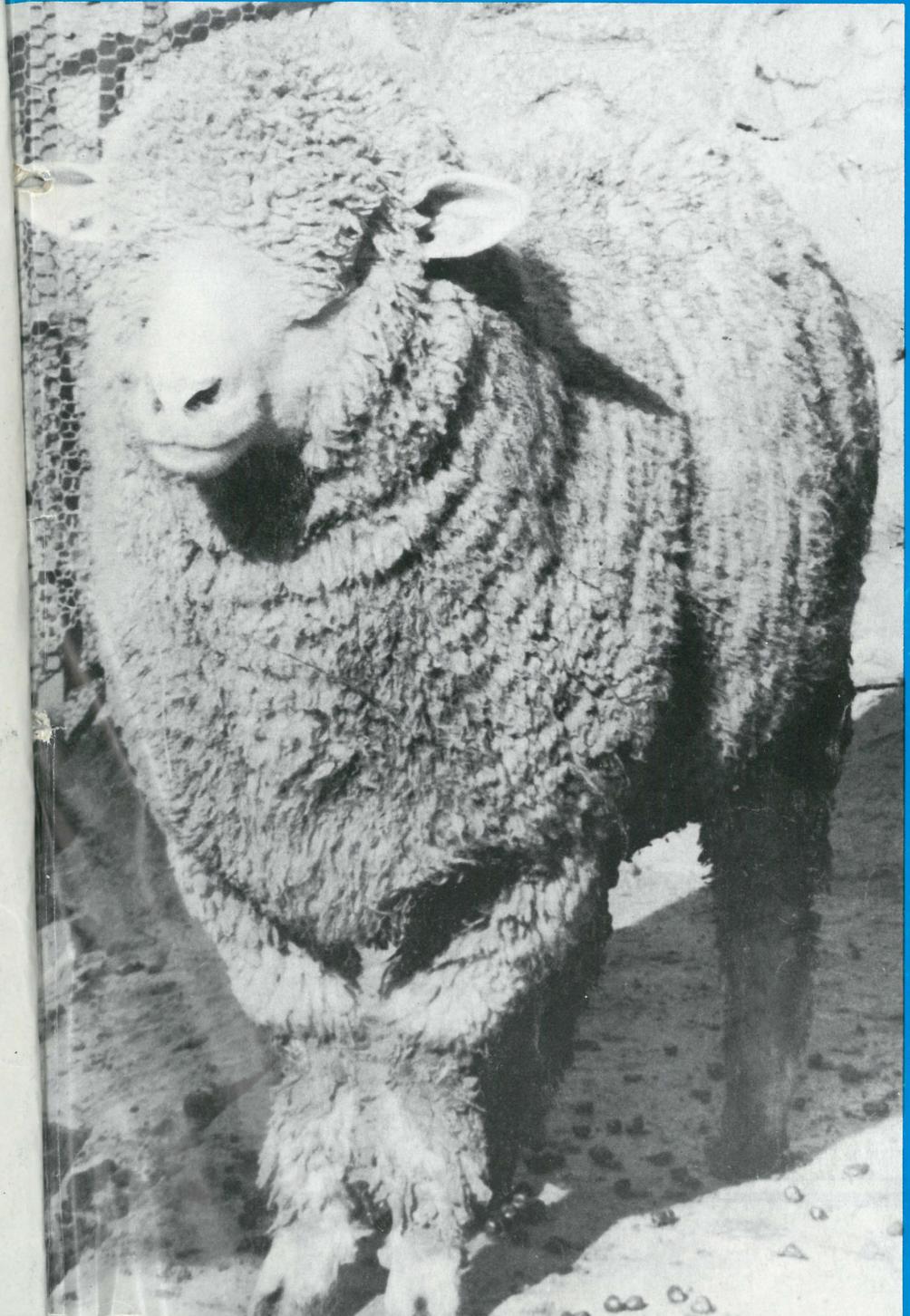


なきごえ



1979

1

大阪市
天王寺動物園協会



中馬 富美子

明けましてお目出度うございます。

今年の干支は羊。物静かですが、祥、美、鮮の字に見られますように清々しく誠実な感じを私たちに与えてくれます。動物園協会が発足しましたのが12年前の羊年でしたから、丁度干支が一廻りしてきたわけでございます。その間、理事の皆さま、会員の皆さまのご協力でほんとうにささやかながら協会本来のお役に立ってまいりましたことは感謝でございます。

近年、日本も国際的に大きな責任を負う立場になり、中国など新たな国交とともに動物たちも立派に親善を果してくれる時代になりましたが、動物に関する話題も豊富で、保護の問題、交換の問題、動物観光の問題、ペットの問題と様々です。先日「なきごえ」で飼育係の方が海外見学に行かれたご報告を読みましたが、一人でも多くの現場の方が海外の動物園にいらっしゃることを希望いたします。

今年もいろいろな面でお役に立てる協会になりたいものと念じております。皆さまの一層のお力添えをお願い申し上げます。

(大阪市天王寺動物園協会 会長)

なきごえ1月号もくじ

新年のごあいさつ	2
“キホオオゴシキドリ”	3
動物園グラフ(羊のおもちゃ)	4・5
羊の話題	6・7
ニュージーランドと羊	8
羊あれこれ	9
キーパーズ・アイ ⑧	10
動物園ニュース	11

表紙の写真説明

「ヒツジ」

ヒツジは今から約8000年位前に、ムフロンという野生のヒツジなどから家畜化されたと云われています。現在は改良が進められ、約1000もの品種が作られています。

(撮影：仲谷 登)



“キホオオゴシキドリ”

「ことりの家」の住人のこの鳥はスマトラ、ボルネオ、タイなどの森林に分布しています。ゴシキドリの名前通り5種類の色で彩られたこの鳥をカラーでお見せできないのがとても残念です。

(撮影：長瀬 健二郎)

動物園グラフ

“ヒツジのオモチャ展”

毎年恒例のエトに因むオモチャ展も14回目を迎えましたが、今回はこのオモチャ展の中から選んだヒツジのオモチャを御紹介しましょう。

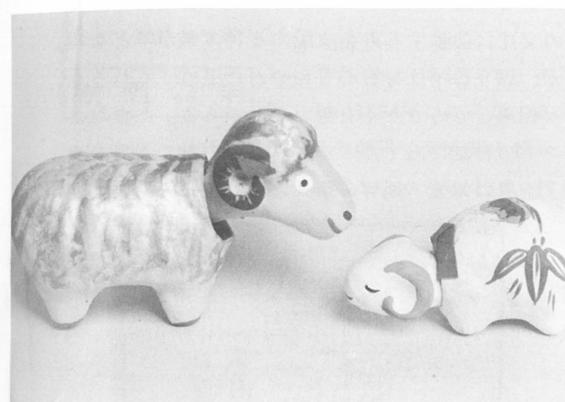
(提供：吉田 平七郎氏)



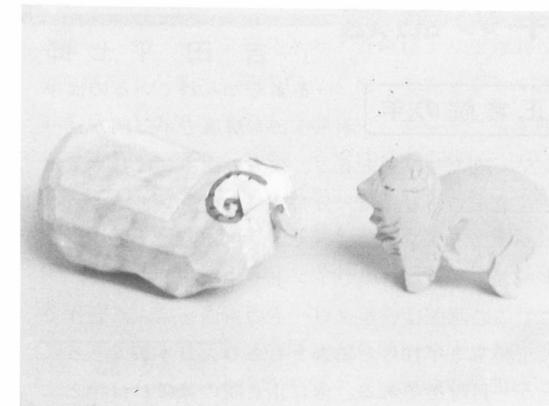
毛皮の羊 (スウェーデンとイギリス)



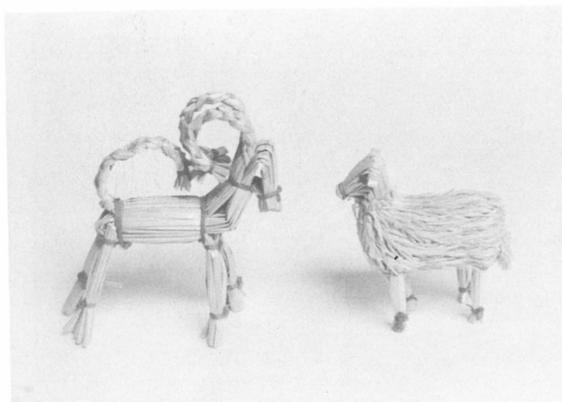
カラクールとサフォーク (ドイツ)



首ふり (柏と出雲)



木彫り (岩手と北海道)



麦わら細工 (スウェーデン)



ぬいぐるみ (中国)



起上り (越ヶ谷と浅草)



唐子と織姫 (名古屋)

11・12月の動物園日記

- 11/10. ベンガルヤマネコのオスが鼻水を出しているので治療を続けています。
上海の西郊公園動物園から園長をはじめ4名が当園を訪問し、園内を見学されました。
11. オランウータンのサツキが熱を出したので薬を飲ませました。
ドリルのメスが衰弱しているため、入院させました。
西郊公園動物園と当園の獣医師、キーパー

が集まり、技術交流を行ないました。

14. アカカンガルーのメスの左下顎が腫れているので、隔離して治療を始めました。
16. オランウータンのサツキの熱が下がらないのでレントゲンを撮りました。
17. 2羽のチャムネシャクケイの寄贈がありました。
22. オランウータンのサツキは、熱も下がり、すっかり元気になりました。
24. ジャングルキャットの仔が肺炎のため死亡しました。

オスのモウコレイヨウの角が、金網にひっかかり折れました。

インドヒョウのオスの検便をしたら、糸虫卵が見られたので、駆虫をしました。

ワシミミズクが産卵しました。

26. トカラウマが左前肢をびっこをひいているので、治療を始めました。

ワシミミズクが2ヶ目の産卵をしました。

27. 2羽のタテガミガンの寄贈がありました。

- 12/1. ヒムネバトが同居している鳥にいじめられ

て腰部にけがをしたので、入院させて治療をしました。

2. ボランティアが約50名集まり、夜の動物園を見学しました。

4. パーバリーシープが、1頭出産しました。
ミズヘビが16匹の赤ちゃんを出産しました。
そのうち2匹が死亡し、14匹が元気です。

6. 今まで仲が悪くて別居させていたクロエリハクチョウを同居させ様子を見たところ、仲良くしているので、ホッとしました。

ニュージーランドと羊

水野潤一

1773年5月20日に、キャプテン・クックがニュージーランドに初めて羊を持ちこみました。



カンタベリー（南島）の小学校で小羊に餌を与える子供達。けれどもこの羊（雌雄のつがいだったのです）は、日ならずして死んでしまい、その後60年間は、ニュージーランドは全く羊なしの日々をすごしたのです。今日、人口300万人に羊が6000万頭、人間1人当りに羊20頭という羊の国ニュージーランドには、およそ考えられない歴史が、60年間もあったのです。羊は元来、乾燥性の高地に適性を持った動物とかで、ニュージーランドのように雨量が多く、気候が温暖すぎる土地での飼育は、むづかしい面があったようです。

日本人が、元来熱帯性の稲に改良を加えて北海道や東北での米づくりを成功させたように、ニュージーランドでは、羊の改良に力を注ぎ、ニュージーランドの気候風土に適した品種をつくり出しました。

羊の用途は大別して羊毛用と食肉用に分けられますが、前者の代表格にメリノ種、後者の代表格にロムニー種があげられます。メリノはスペイン原産の古典的品種ですが、羊毛としては最高の品種を産み出します。一時ニュージーランドの羊の3分の1はこの品種で占められていましたが、現在では南島の気候のきびしい地方に飼われているだけで、その数も全体の3パーセントにすぎません。

ニュージーランドの羊の主流は、今やロムニー種です。イギリスはケント州の肥沃な牧場で開発され、1853年にニュージーランドに輸入されました。この種を更にニュージーランドの雨量の多い気候に合うよう改良した結果、羊毛・食肉兼用の品種として大いにもてはやされ、現在ではこの系統のものが全体の73パーセントにも達しています。ただ、この種はやはり肉用が主で、羊毛としては粗すぎて、カーペットや毛布、外套の原料として使われるようです。

羊は本当に臆病な動物で、集団で逃げまわる以外、身をまもる武器ひとつ持っていません。そういう性質を利用して、牧羊犬を訓練し、1人の人間が何百頭

もの羊を飼育できるようになりました。シープ・ドッグ又はワーキング・ドッグと呼ばれるこれらコリーを中心とした牧羊犬は、ヘッディング・ドッグ（吠えずに黙々と散らばっている羊を集める犬）ハンタウェイ（うるさく吠えて羊を散らす専門の犬）ハンディ・ドッグ（便利犬。つまり両方の仕事ができる犬）それに稀にはリーディング・ドッグ（羊の先頭に立って群をリードできる犬）といった種類に分けられ、ニュージーランドでは20万頭もの牧羊犬が仕事についているのです。

羊を育てるには、よい牧草が必要で、ニュージーランドは、この点でも大いに改良に改良を重ねてきました。羊は食いしんぼうで、日がな一日、草を食べています。ニュージーランドは1年を通じて気候が温暖なので、冬でも牧場は緑のままの所が多いのです。雨にも負けず、風にも負けず、丈夫な毛皮と歯を持って、一心不乱に食べています。それで羊の歯を見ると年が判り、歯が磨滅してしまうと消化不良をおこして死んでしまうと農夫は話していました。ラムは1才未満の子羊ですが、満1才の羊をホゲットといい、食肉としては一番おいしい時期は、このホゲットなんだそうです。ニュージーランド人が、一番好んで食べる羊肉は、このホゲットです。



羊はニュージーランドの象徴と言ってもいいほどこの国の名物。その数は人口の20倍、6000万頭にも達し、羊毛と肉はニュージーランド産業の大黒柱をなしている。

羊の毛刈りは昔は春から夏にかけてということでしたが、今では一年のうち冬の2カ月を除いていつでもやります。年に2度毛刈りをする事も増えました。電気バリカンで1頭を5分くらいで刈ってしまいます。ふつう朝5時頃から起きて、夕方5時半頃まで仕事をします。実働は9時間くらいですが、電気バリカンによる1日最高の取扱頭数は、目下963頭がレコードということなのです。

（ニュージーランド大使館観光部広報室長）

羊あれこれ

◎分類学的位置 哺乳綱偶蹄目ウシ科ヒツジ属

現在飼育されているヒツジは約1000品種にも及ぶほど多種多様なヒツジがあり、その祖先は野生ヒツジを相互に無数に交配の結果得られたものである。

野生種：ムフロン（コルシカ島、小アジアなど）
ウリアール（トルキスタン、イラン）
アルガリ（中央アジア）
ビッグホーン（北米）

◎品種

ヒツジはいろいろな用途があるが、食肉、羊毛、毛皮、乳と大きく4つに分けられる。肉用種としてはサフォーク、サウスダウ

ン種など毛用種としてはメリノ種が有名で年1回の毛刈りで平均4～8kgの羊毛がとれヒツジ1

頭から背広1着分がとれる。毛肉兼用種としてはコリアール種が有名である。ヒツジの乳汁は脂肪分が6.2%と非常に高く（ウシ3.5%、ヤギ4.3%）チーズを作るのにも適している。

◎性質、特徴

性質はおとなしく臆病で、群をなし、粗食、寒さに耐える。ヤギとちがいあごにヒゲがなく、角も渦状に巻く。角は雌雄共あるもの（ブラックフェース種など）、雄だけ有するもの（メリノ種など）、雌雄共ないもの（サウスダウ種など）など様々である。体重は20kgほどのスコットランド産の小型品種から150kgにも達するリンカーン種までかなりの体格差がある。体毛はちぢれた細い毛と粗毛が入りまじり、

毛色も白色、栗色、黒色、まだらなど多彩である。

◎歴史

約8000年前ほどにすでに家畜化されていたといわれており、現在10億頭をこえるヒツジが世界で飼育されている。

日本への初渡来は西暦599年に記録されているが、日本で本格的にヒツジの飼育が始まったのは1875年に千葉県成田の牧場が設置されて以来で、一時減少したものの着実に増え続け、1957年に95万頭に達したのを最高に激減の一途をたどっている。

◎生態

ヒツジは約150日ほどの妊娠期間で出産するが、一産1仔もしくは2仔が普通である。2年で成熟するが家畜化された品種によっては1年以内で性成熟に達する場合もある。寿命は15年ほどといわれているが、4才で乳歯の全てが永久歯にかわり6才以上になると歯が磨滅し、採食や咀嚼に不自由をきたす。

◎疾病



病気に対しては抵抗性が強く、偶蹄類特有の伝染病以外には重い病気にはかかりにくい。動物園の場合、胃が4つに分かれて反芻（かみもどし）をする関係上、第一胃に異物がたまりやすく、特に近年、お菓子などの包装のビニール類が第一胃にたまり、その結果採食不能、栄養不良などにおちいつて死にいたる場合がある。

（なきごえ編集部M.M）

羊の話題

吉田平七郎

正倉院の羊

一番よく知られているのは羊木ろうけち屏風で羊は明かにベルシャ辺のものであるが、後方の樹木には日本猿が2匹遊んでいる。猿の分布はパキスタンまでで、ベルシャ（イラン）にはいない。尾が短かくて小猿に表現されていないのでインドや中国産ではない。そこでこの画面はシルクロードの東西を結んだ合作で天平勝宝3年10月と墨書きもあり、日本製であることが一目瞭然である。他に正倉院の染織には羊と山羊を描きかけたものや野生のアイベックスも見られる。

聖フランシスコと羊

バロセロナ動物園の入口には動物愛護者のシンボルとして彼の像があり、一般に小鳥や魚に説教した話はよく知られているが羊との伝説もある。彼は屠殺場へ連れて行かれる小羊たちを見かけてゴルゴタへ向うイエスを思い出して買取ったが、その中の一頭を飼い馴らしていた。また、シエナ近辺の草原を通っていた時

に羊たちが彼の方に駆け寄って、親しく鳴きながら彼をとりかこんだという。

私はこの場面が好きで動物を愛する人を動物たちはよ

く知っていて、別に餌をやらなくても彼自身からにじみ出る愛護の光にうたれて集ってくる。この羊展でも数々の羊が私の愛蔵するフランシスコ像を中心に殺到したシーンだと思って見てほしい。

式内羊神社

名古屋市北区辻町5-26に羊神社がある。延喜式神名張に羊神社として記帳され祭神は火の加具土の神より火土がひつじ（羊）になったと言ひ伝えられており、また、辻町はひつじからひを取り去り辻町になったという。元来、火の加具土の神は火伏せの神で、京都の愛宕神社や静岡県の秋葉神社の祭神も同じ神で火



A statue of St. Francis FRANCIS OF ASSISI, ST. (1182-1208). Founder of the great Franciscan Order and a lover of all dumb creatures.

聖フランシスコ

の用心・火災除のために参詣する。かぐは輝く、つちは霊者の意で火をつかさどる神のことである。人類の文化に功献する火を支配する神の名が羊となったが、思うに羊は身も心も和やかに温めてくれる点でも相通じてめでたく有難いことである。たまたまインドの神話に出てくるアグニも火の神で天界の太陽・空界の電光・地界の祭火となり生命の原動力と



羊に乗るアグニ

なる。暗黒を照らし、不浄を焼く作用から降魔神とされ、アグニを乗せている動物が羊であったとはびっくりした。

羊でない羊

アンモナイトの化石がらせん状で羊の角に似ていると思ったらエジプト神話のアモンからきている。アモンの神を表わす羊のスフィンクス石彫りが今もテーベの神殿に並んでいる。地質学で羊群岩とか羊背岩というのは氷河の接触で形づけられた基盤岩のことをいう。中国でつむじ風の事を羊角風と呼び、羊腸の小径から羊径山も実在、各地に羊山、羊頭山、羊角山もある。日本にも北海道の羊蹄山が知られているが、今（シリベシ）の後志を昔は後方羊蹄と書いていたのでその羊蹄をとって命名したもの、アイヌ語マツカリヌプリは川にとりまかれた美しい山を意味している。

歌舞伎の羊

初代並木五瓶の作富岡戀山開、通称二人新兵衛で寛政十年（1798年）正月、江戸桐座で初演された。その中で羊と人間の角力を見せたり、大切な証文を羊が食べてしまつて事件が丸くおさまったりする。江戸の風絵に羊と玉屋新兵衛が見られる。

年賀切手の羊

今年は秋田県の中山人形で新作の羊鈴。やさしい羊の目もとや毛なみを見事にとらえた傑作。この地方では羊の

飼育もあり、作者がよく見て知っていたから生れたものである。羊の群のリーダーにベルを着ける所もあって羊鈴とはおもしろい。

絵画の羊

名画の羊といえばミレーの羊飼の女（1864年）なら誰でも知っている。百頭近い羊の群の前景で女が編み物をしている。どうしてそんなに暇なのかといえば、牧羊犬が1頭右側に立って監視しているからである。次にアメリカ人エドワード・ヒックスの平和な世界を思い出す。近景には子供3人と猛獣ライオン、トラ、ヒョウ等と草食の家畜、牛、山羊、羊が仲よく遊んでいる。左の中景には移住者の白人たちがインディアンの人々に親しく贈物をしている所で、人も動物も平和な親善風景で、正に地上に咲いたパラダイスである。

大原美術館にあるセガンチーニのアルプスの真昼は大自然の中で人と羊がひとつにとけ合った生活の幸福を語ってくれる。スペインのムリリョもよく羊の作品を残しているが、私は羊飼の少年が1頭の羊と草むらで休憩している画面が好きである。迷える小羊が涯から落ちた時に首にかけて引上げてやるため、先の大きく曲った長い杖（シーブフック）を持っている。女や子供でも楽に羊の番ができることをこの絵は物語っている。

日本には羊無く推古天皇、嵯峨天皇時代に羊や山羊が渡来し、その後5~6回も記録は残っているが見世物程度で羊と山羊が同一視され、それが常識化されて長く尾を引いている。円山応挙が一画面で両者を描き分けているのには感心した。

先日、京都の国立博物館で涅槃図の名作展あり、21点の中で羊らしきものが3点あったが何れもあごひげらしいものがあり山羊らしくもあった。涅槃図に鳥獣虫魚、多いものでは80種も動物が画かれているが、インドや中国では人物だけで人と動物たちが寄り集って悲嘆にくれているのは我国の特徴だという。涅槃経に説く動物は52種で、その中に山羊は無く羊が明記されている。アダムとイブの楽園にもまして人と動物との心のつながりまで描写し得た点でこれはすばらしい世界的な作品だと思う。

羊のシンボル

キリストは自らよき羊飼といっている。宣教師のことを牧師さんと呼ぶ。羊は弱者で保護者がなければ生きてゆけない。無抵抗で攻撃性がなく集団で生活・群居性

が強い。すっかり家畜化されて有角種より雌雄共に無角種の方が多い。闘争性なく従っておとなしく臆病者で、1頭では羊であり得ない。そこでみんな仲よく群で活してゆくためには常に平和を確保していなければならない。羊は平和の代名詞で、私は羊を愛する人は平和を愛する人だと思っている。身も心もほのぼのと温かい羊にあやかって和やかな新春を迎えたいものと念願する。

迷信の羊

過日、あるロータリークラブの席で何か羊について質問はときいてみたら、何故羊年生の女性が嫌われ、男は好かれるのかという。それは羊が優しくおとなしい素直で従順な動物だから、元来女性もやさしく謙虚でおとなしい者ときめられていたので、羊と女が二重にダブルと恥しがりで臆病で役に立たないと考えられた。反対に男は亭主閑白だったから、せめて羊年生れだつたらよい婿に扱ふ価値があると思われていた昔の話。それが現在ではどうなったのか？ 男と女の区別がだんだんなくなり、男は女らしくなり、女は男らしくなってきた。共にジーパンを着し、男の髪は長くなり、女は短くなり共にカラーフルでもある。雌雄の別のはっきりしない雀や鳥は生活にゆとりがなく、孔雀や極楽鳥の方が進んだ仲間の人種的にも文化人と未開人の間に分化が文明の原理であるようだ。男女平等とは同形になることではない。男はあくまで女らしい女にあこがれ、女は男らしい男を愛するのが本道であることを強調する。又、別に羊の日には結婚式をさけるという迷信は翌日は狼の日になるので嫁が去るとこじつけた笑話でしかない。

羊と山羊

羊は光と平和のシンボルで、山羊は暗黒と悪魔だから西洋では山羊の中から羊を扱べとは善悪を区別せよという諺になっている。羊にはらせん状の巻角をもっているものがあり、山羊にはあごひげがある。東洋の十二支には羊だけしかいないのに昔から羊と山羊が結合して巻角であごひげのある怪物が玩具や置物に数々横行しているのに皆無関心で見のがしている。天天寺動物園では羊と山羊が隣合せに飼育してあるから、今年があごひげの無い羊年であることを確認してほしい。羊の種類は多く、現在飼育中のコリデルは雌雄共に無角種である。（おもちゃの動物園長）

☆忍者“マミー”

昨年の11月9日に生まれたマレーグマのマミーは、その後順調に成長し、おてんばぶりを発揮し、入園者の人たちの人気を集めています。又、担当の私がハットさせられる事もあります。最近の事です。



☆夫権回復せよ!

昨年の夏、繁殖の期待をかけていたのを、みごとに肩すかしをくってしまったコンドルの事は、昨年の11月号のこのコーナーで、紹介しましたが、ついに12月17日の朝、コンドルが産卵していました。しかし、産み落されたばかりの卵は、残念な事に好奇心旺盛なコンドルのオスが、くちばしでつついてこわしてしまったのです。せっかく産んだ卵を、つぶされてしまったメスは、“ニクキヤツ”とばかりオスにかみつきましたが、大ゲンカにはならずオスは逃げまどうばかりでした。今回の場合は、夏時の様に、メスが巣を作る様な事もなく、又、人に攻撃してくる事はありませんでしたが、オスがディスプレイを、さかんにしているのはよく見られました。そしてディスプレイをしているオスの側によって、オスと同じ様に大きな羽をひろげているメスの姿もよく見かけました。コンドルの繁殖は、国内の動物園では、横浜の野毛山動物園と徳島市の動物園で成功していますが、その記録によると、コンドル

私が朝寝室から運動場に、マレーグマの親子を出してやると、出たと思ったマミーの姿が見当りませんでした。私はびっくりして、寝室の中をくまなくさがしましたが、マミーの姿は見当りませんでした。そしてふと上を見ると、なんと天井の上にある換気孔の鉄格子のすき間に、爪をひっかけて丸くなってぶらさがっているではありませんか。その姿といたら、まるで忍者のごとく天井にかくれていたのです。今まであんな所にぶらさがったりしなかったのですが、いつの間にあんな術を学んだのでしょうか？ 私はそのかっこうを見て、おこる気持も忘れ思わずふき出してしまいました。その後も、マミーは、この忍者ごっこが気に入ったのか、寝室に入ると、天井にぶらさがっているのです。この可愛い光景をみなさんに見ていただけないのが残念です。

(柴田 聡)

はオスとメスが、交代で卵をだき、どちらかという、オスの方が熱心に卵をだくという事ですが、当園のコンドル夫婦は、少しオスがおとなしく恐妻家？の身にあまんじているのですが、ぜがひと繁殖を成功させるためには、まずオスの夫権回復をしなければならぬでしょう。



(農本 武志)

§ バーバリーシープの出産

12月4日、バーバリーシープが産産しました。バーバリーシープは普通双子が多いのですが、今回は1頭だけで、オスの子供でした。誕生の翌日は雨が降り寒くなってきたので心配しましたがベテランママの世話で、少しぬれただけで、元気一杯に舎内を駆けまわっています。当園ではこの子が39頭目になりますが、出産期は3月から6月に集中し、12月に生まれたのは初めての事です。

§ ミズヘビの誕生

12月4日にはミズヘビも16匹の子ヘビを出産しました。ヘビは普通、卵生で卵を産むのですが、このヘビは卵胎生といって卵を産まずに子ヘビを産みます。そこで産卵ではなく、出産になるわけです。

生まれた16匹のうち2匹は発見時にすでに死亡していましたが、残った14匹は元気になっています。親ヘビはぼんやりした縞模様をしているのですが、子ヘビ達は鮮やかな縞模様で、とてもきれいです。担当者は餌付けのための飼料を模索中です。

§ ワシミミズクの産卵

11月24日、26日にワシミミズクが産卵しました。このペアは今年の2月と4月に繁殖に成功していますので、今回も大いに期待がもたれます。抱卵日数は約1ヶ月ですので年末にはかわいいヒナの姿が見られることと思います。

§ 第2回飼育研究会開催

11月22日、第2回の飼育研究会が開かれました。発表議題は3題で、まず芝野係員から10月21日にフ化したアカミミガメの「フ化状況並びに成育状況について」の発表、次いで樽本主査から11月7・8日、



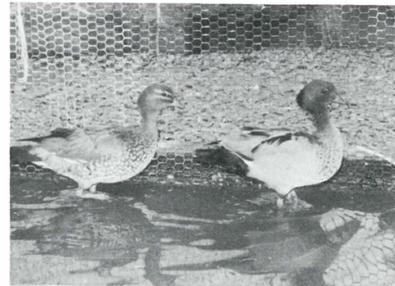
1頭だけで、オスの子供でした。誕生の翌日は雨が降り寒くなってきたので心配しましたがベテランママの世話で、



多摩動物公園で行われた「第26回獣医並びに飼育者研究会全国大会」についての発表がありました。そして最後に長瀬獣医から「京都府下冠島のオオミズナギドリ」について、スライドを混ぜての発表がありました。

§ タテガミガンの寄贈

11月27日、タテガミガン一番いの寄贈がありました。このガンはオーストラリア内陸部に住む珍しいガンで、日本の動物園では2園で4羽飼われているだけです。今年生まれのヒナですので来春の繁殖はまだ無理でしょうが、2年後の繁殖に期待が持たれます。



§ 動物園の人気動物

ベスト・スリーが決まりました。

秋の動物園まつり期間中の、10月15日から31日まで、「動物園人気投票」を入園者から募集し、投票総数18,361票の中から、次のベスト・スリーが決まりました。1位ゾウ、2位キリン、3位ライオン、以下、サル、トラ、ペンギン、アシカ、ゴリラ、ホッキョクグマ、ヒグマの順となりました。

§ 羊のおもちゃ展

毎年エトにちなむおもちゃ展を開いていますが、今年のエトの羊にちなみ、「羊のおもちゃ展」を北園展示館で開催しています。外国の羊16カ国85点、日本の羊85点の羊に関するおもちゃと羊の資料72点が展示されています。期間は1月2日～1月31日までです。

▷ 休園日のお知らせ ◁

毎月第3月曜日は休園日です。4月までの休園日は下記の通りです。
1月16日、2月19日、3月19日、4月16日、
開園時間は9時半から4時半までで、4時に切符売止めになります。

§ 「ボランティア」を募集しています

天王寺動物園では、毎年夏休みに小学生(4～6年生)を対象としたサマースクールを開催していますが、このお手伝いしていただけるボランティアを募集しております。

動物や自然を愛する高校生以上の方で、サマースクール期間中(7月下旬)、奉仕いただける方の応募をお待ちしております。

[連絡先: 天王寺動物園 06-771-8401]

なきごえ 昭和54年1月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

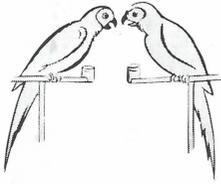
第15巻第1号(通巻161号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪(06)771-0201

振替口座 大阪 37823

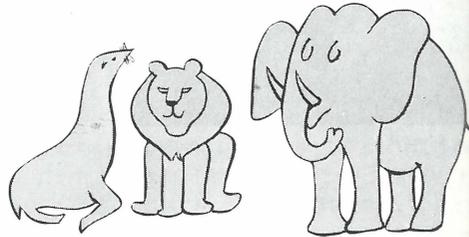
1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨグール

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

各130cc.=90円

編集委員

板野 健一・前木 妙子・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三・農本 武志
 石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・葭谷 文彦・仲谷 登